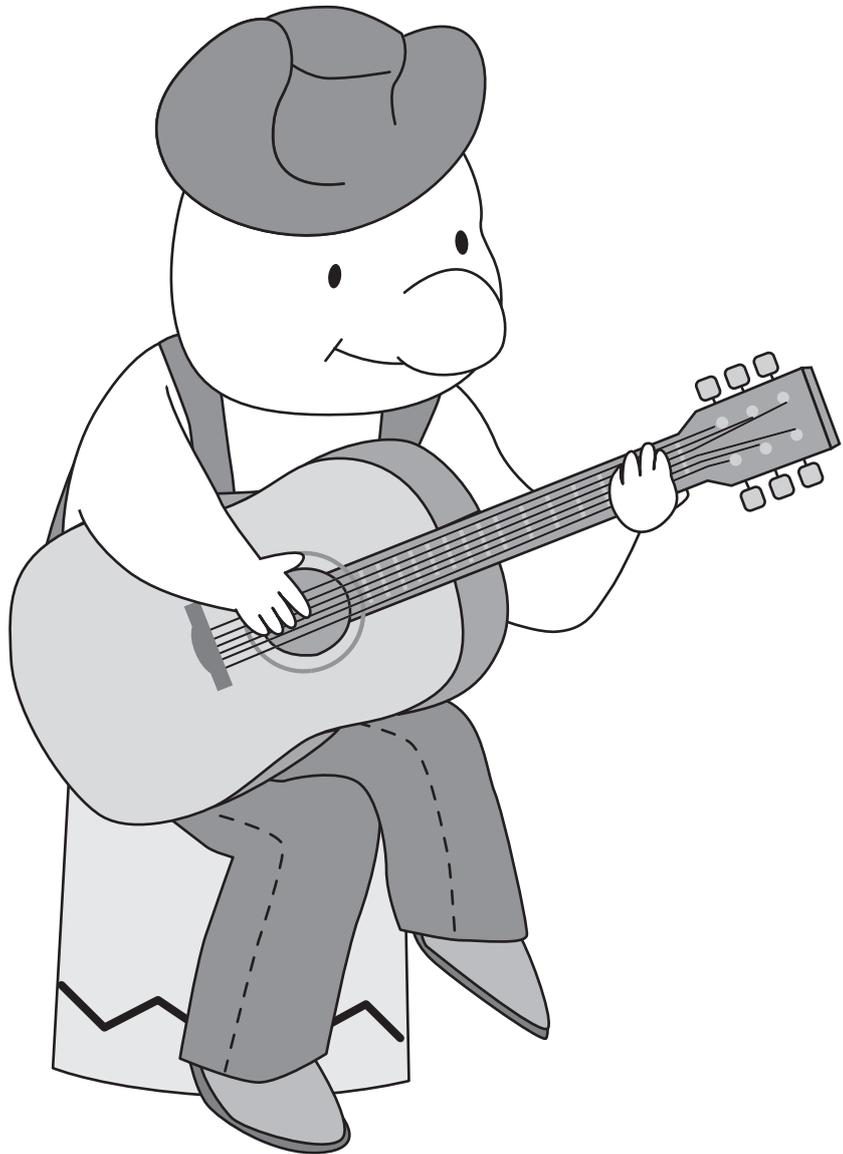


Let's try!



# ラパン 10-1

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

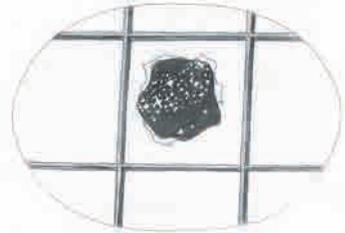
かた<sup>かた</sup> きて<sup>きて</sup>  
肩<sup>かた</sup>に<sup>に</sup>来<sup>き</sup>て

ひと<sup>ひと</sup>  
人<sup>ひと</sup>な<sup>な</sup>つか<sup>つか</sup>し<sup>し</sup>や  
あか<sup>あか</sup>  
赤<sup>あか</sup>と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>ぼ



う<sup>う</sup>つ<sup>つ</sup>く<sup>く</sup>し<sup>し</sup>や

しょう<sup>しょう</sup>じ<sup>じ</sup>  
障<sup>しょう</sup>子<sup>じ</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>な<sup>な</sup>  
あ<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>  
天<sup>あま</sup>の<sup>の</sup>が<sup>が</sup>わ<sup>わ</sup>  
天<sup>あま</sup>の<sup>の</sup>川<sup>がわ</sup>



く<sup>く</sup>び<sup>び</sup>  
首<sup>くび</sup>あ<sup>あ</sup>げ<sup>げ</sup>て

お<sup>お</sup>み<sup>み</sup>  
折<sup>お</sup>り<sup>り</sup>折<sup>お</sup>り<sup>り</sup>見<sup>み</sup>る<sup>る</sup>や  
に<sup>に</sup>わ<sup>わ</sup>  
庭<sup>にわ</sup>の<sup>の</sup>は<sup>は</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>  
庭<sup>にわ</sup>の<sup>の</sup>萩<sup>はぎ</sup>



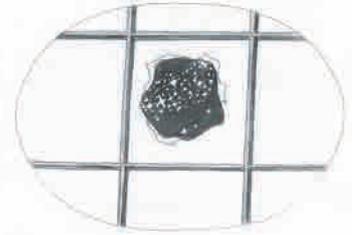
# ラパン 10-2

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

くび  
首あげて

しょうじ あな  
障子の穴の  
あま がわ  
天の川



かた き  
肩に来て

ひと  
人なつかしや  
あか  
赤とんぼ



うつくしや

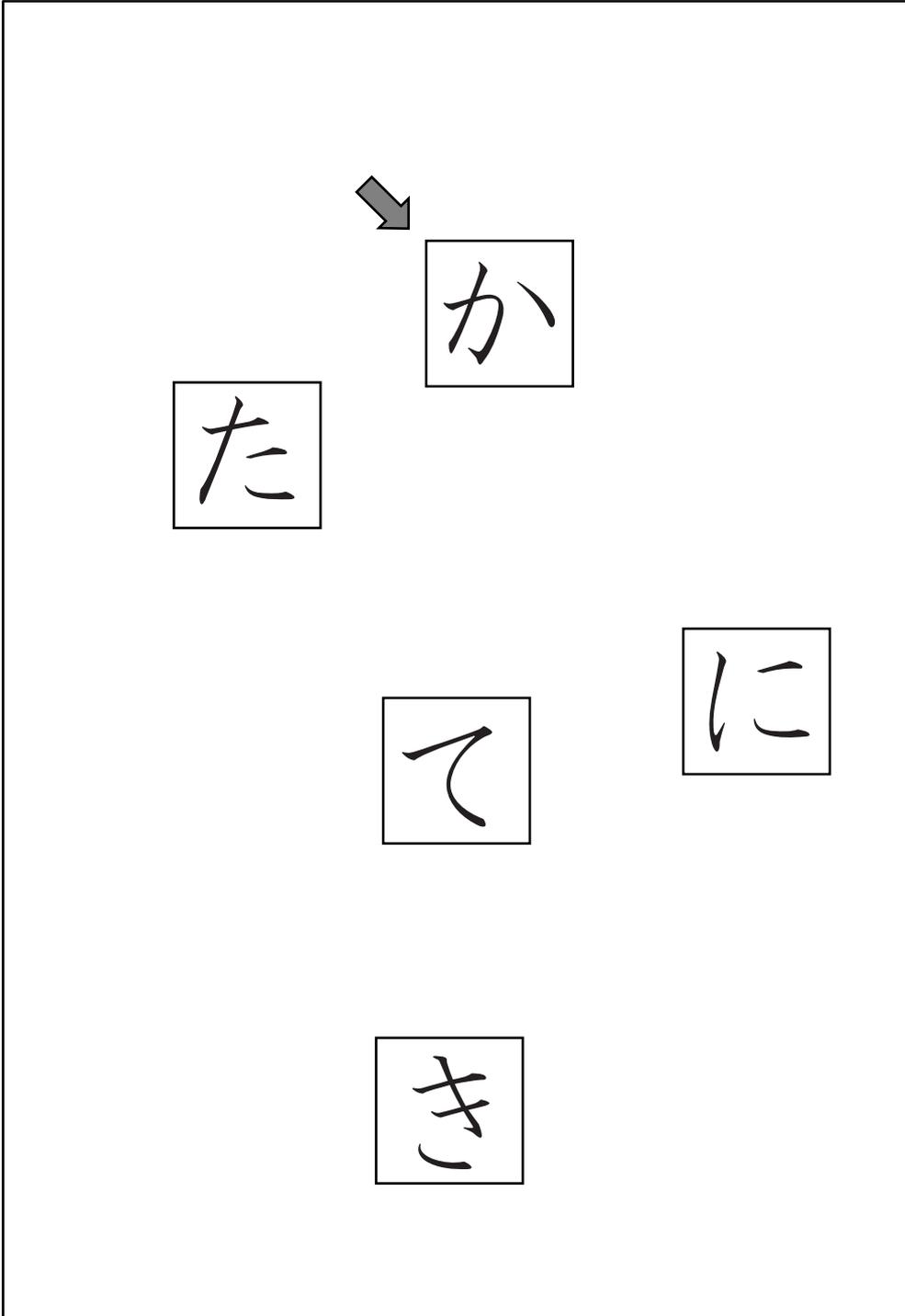
お お み  
折り折り見るや  
にわ はぎ  
庭の萩



ラパン 10 - 3

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

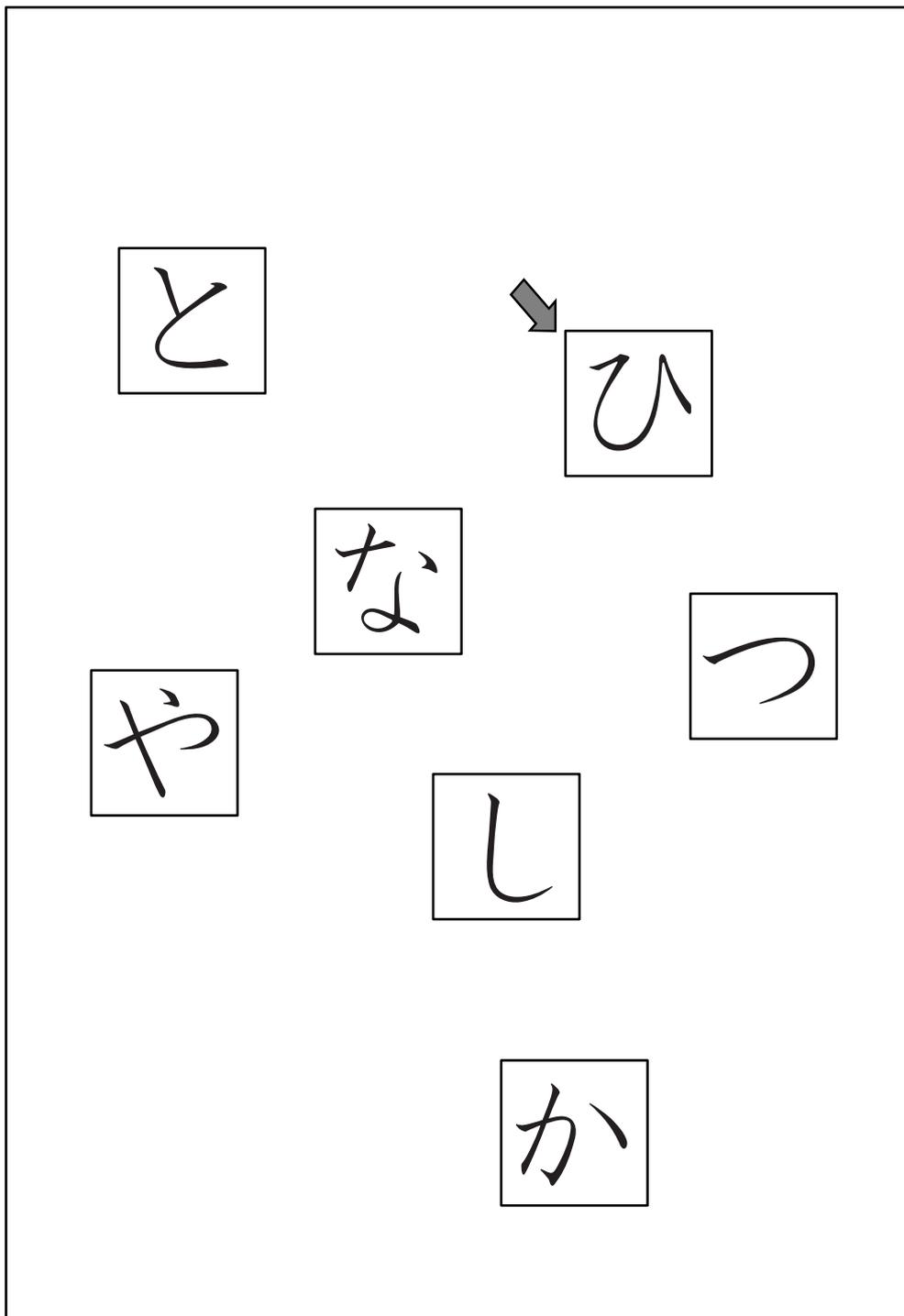


かたにきて.....

ラパン 10-4

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

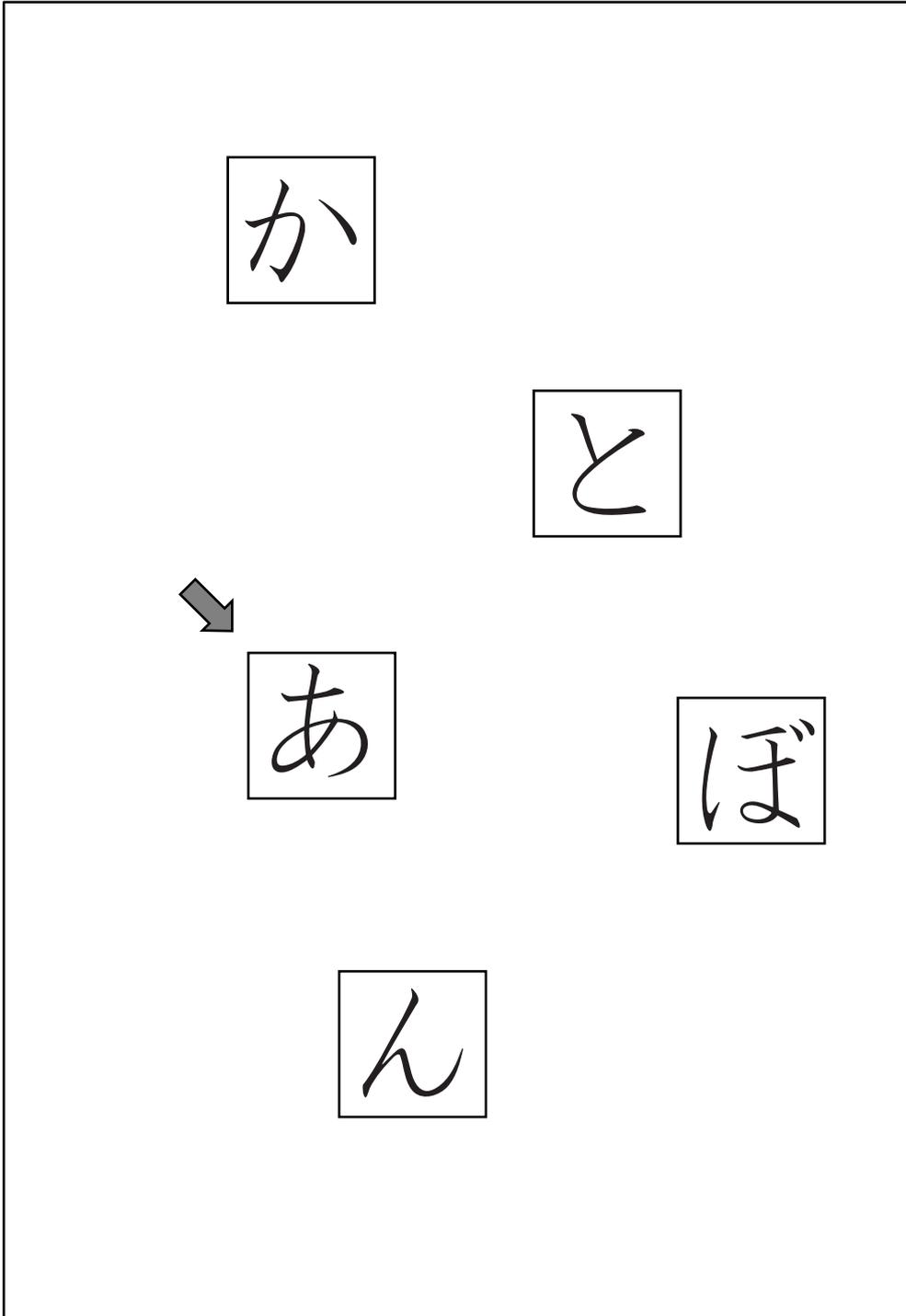


・  
・  
ひ  
と  
な  
つ  
か  
し  
や  
・  
・

ラパン 10 - 5

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。



・  
・  
・  
・  
あ  
か  
と  
ん  
ぼ

# ラパン 10-6

なまえ

はじめからおわりまで、<sup>すす</sup>進みましょう。

はじめ



か	た	に	き	て	ひ	よ	ど	り
た	ぐ	る	ま	は	た	い	な	が
に	と	ん	ぼ	た	か	い	た	か
き	ら	き	が	い	る	よ	ま	い
て	ひ	ら	ひ	か	る	お	さ	き
る	と	な	つ	も	い	ほ	し	ど
な	な	つ	の	お	で	だ	ね	れ
く	つ	か	あ	き	の	ゆ	う	ぐ
し	か	し	や	あ	か	と	ん	ぼ



↓  
おわり

# ラパン 10-7

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

なまえ

いっちやく  
一着

コート



いっ  
一基

とうろう



いちぐ  
一具

はかま



# ラパン 10-8

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

いち ぐ  
一 具

とう  
ろう  
ろう



いっ き  
一 基

コ  
ー  
ト



いっ ちやく  
一 着

は  
か  
ま



# ラパン 10 - 9

なまえ \_\_\_\_\_

すうじをなぞりましょう。  
たしざんをしましょう。

$$4 + \begin{array}{c} \text{7} \\ \text{ラパン} \end{array} = \square$$

$$6 + \begin{array}{c} \text{7} \\ \text{ラパン} \end{array} = \square$$

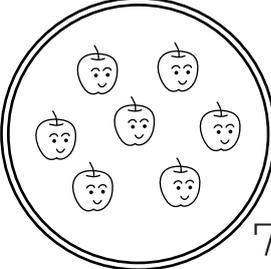
$$5 + \begin{array}{c} \text{7} \\ \text{ラパン} \end{array} = \square$$

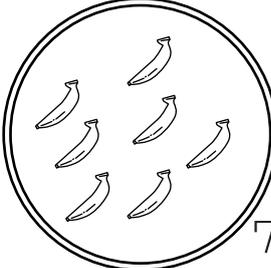
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

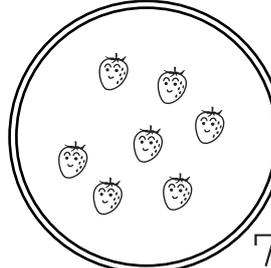
# ラパン 10 - 10

なまえ \_\_\_\_\_

すうじをなぞりましょう。  
たしざんをしましょう。

8 <sup>○○</sup> +  =

7 <sup>○○○</sup> +  =

9 <sup>○</sup> +  =

- |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|

○の数と数字で10になることを教えましょう。

# ラパン 10-11

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

うおごごろ  
魚心あれば

みずごころ  
水心



かえるの<sup>つら</sup>面に

みず  
水



かちゅう <sup>くり</sup>  
火中の栗を

ひろ  
拾う



かめ <sup>こう</sup>  
亀の甲より

とし <sup>こう</sup>  
年の功



# ラパン 10 - 12

なまえ

せん  
線  
でむすびましょう。

かえるの<sup>つら</sup>面に  
みず  
水

けいけん  
経験がものをいうね



かめ  
亀の<sup>こう</sup>甲より  
とし  
年の<sup>こう</sup>功

あいて  
相手の<sup>で</sup>出方で<sup>かんが</sup>考えよう



かちゅう  
火中の<sup>くり</sup>栗を  
ひろ  
拾う

どんなことも<sup>へいき</sup>平気  
だよ



うお  
魚<sup>ごごろ</sup>心あれば  
みず  
水<sup>ごころ</sup>心

ひと  
人のために<sup>きけん</sup>危険な  
ことをする



# ラパン 10 - 13

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

かちゅう くり  
火中の栗を  
ひろ  
拾う

あいて こうい てき  
相手が好意的になれば、  
おう よう い  
応じる用意がある



つら  
かえるの面に  
みず  
水

ながねん けいけん そんちよう  
長年の経験を尊重す  
べきこと



うお ごごろ  
魚心あれば  
みず ごころ  
水心

た にん りえき  
他人の利益のために  
きけん  
危険なことをする



かめ こう  
亀の甲より  
とし こう  
年の功

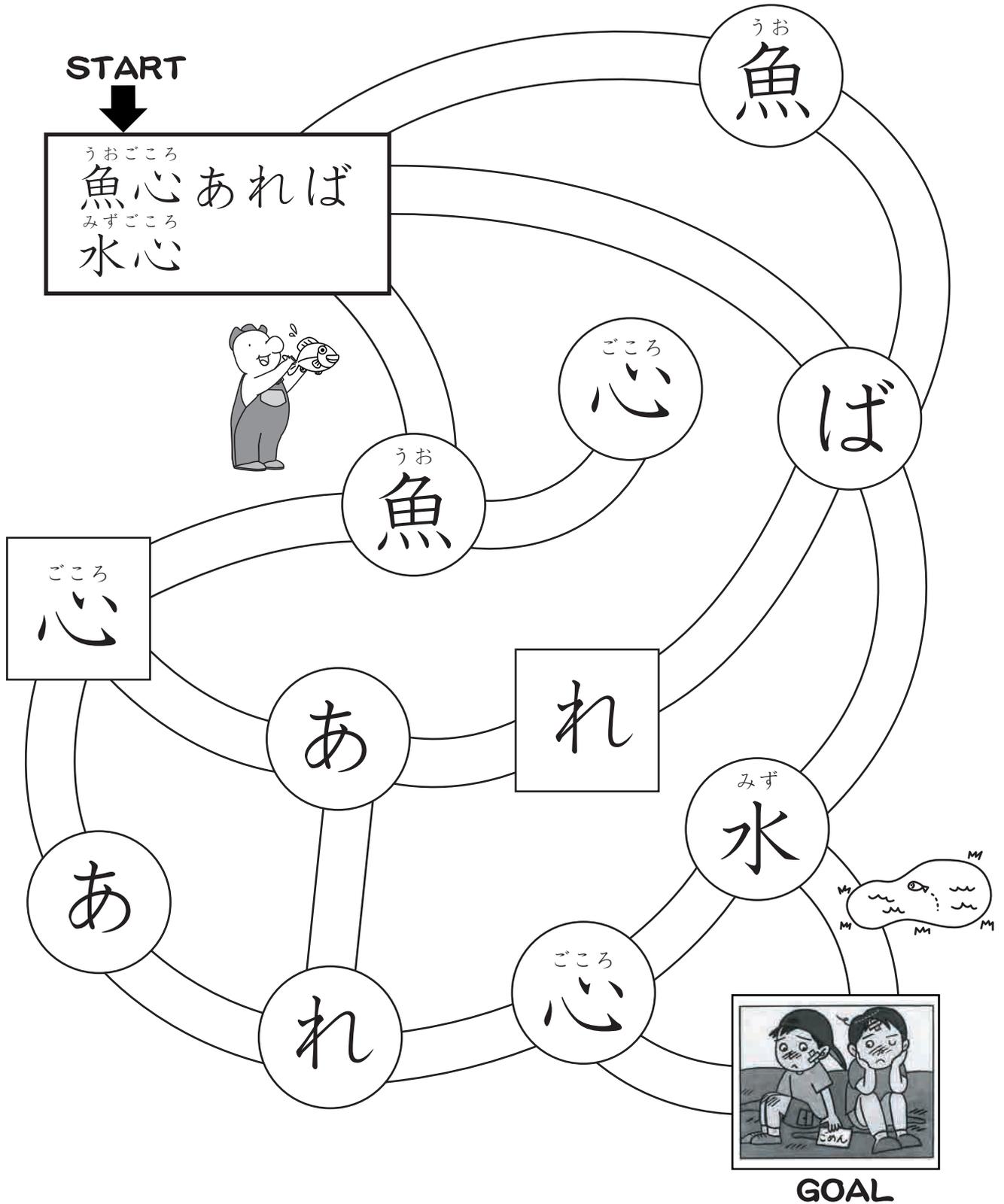
しゅう  
どんな仕打ちにあっ  
ても平気



# ラパン 10-14

なまえ

スタートからゴールまでいきましょう。



- 1 かなづちでたたかれて、<sup>やく</sup>役に<sup>た</sup>立つもの  
なあに？



- 2 <sup>ね</sup>寝るとき、<sup>あたま</sup>頭の<sup>した</sup>下じきになるものなあ  
に？



- 1 こいはこいでも、<sup>そら</sup>空をおよいでいるこいはなあに？

こいのぼり

- 2 <sup>かぜ</sup>風にとばされないように、<sup>せんたくもの</sup>洗濯物を<sup>いっしょう</sup>一生  
<sup>けんめい</sup>懸命おさえているものなあに？

せんたく  
ばさみ

ラパン 10 - 17

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

いっ しん  
一進

いっ たい  
一退



かん がい  
感慨

む りょう  
無量



き き  
奇奇

かい かい  
怪怪



# ラパン 10 - 18

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

いっしん いったい  
一進一退

すす あともど  
進んだり後戻りしたり  
する



き き かい かい  
奇奇怪怪

あやしげで、なぞが  
多いぞ



かん がい むりょう  
感慨無量

うーん、しみじみと  
感動するなあ



# ラパン 10-19

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

かんがい むりょう  
感慨無量

すす すす あともど  
進んだり後戻りしたり  
する。



き き かい かい  
奇奇怪怪

はかりしれないほど  
身<sup>み</sup>にしみて感<sup>かん</sup>じること。

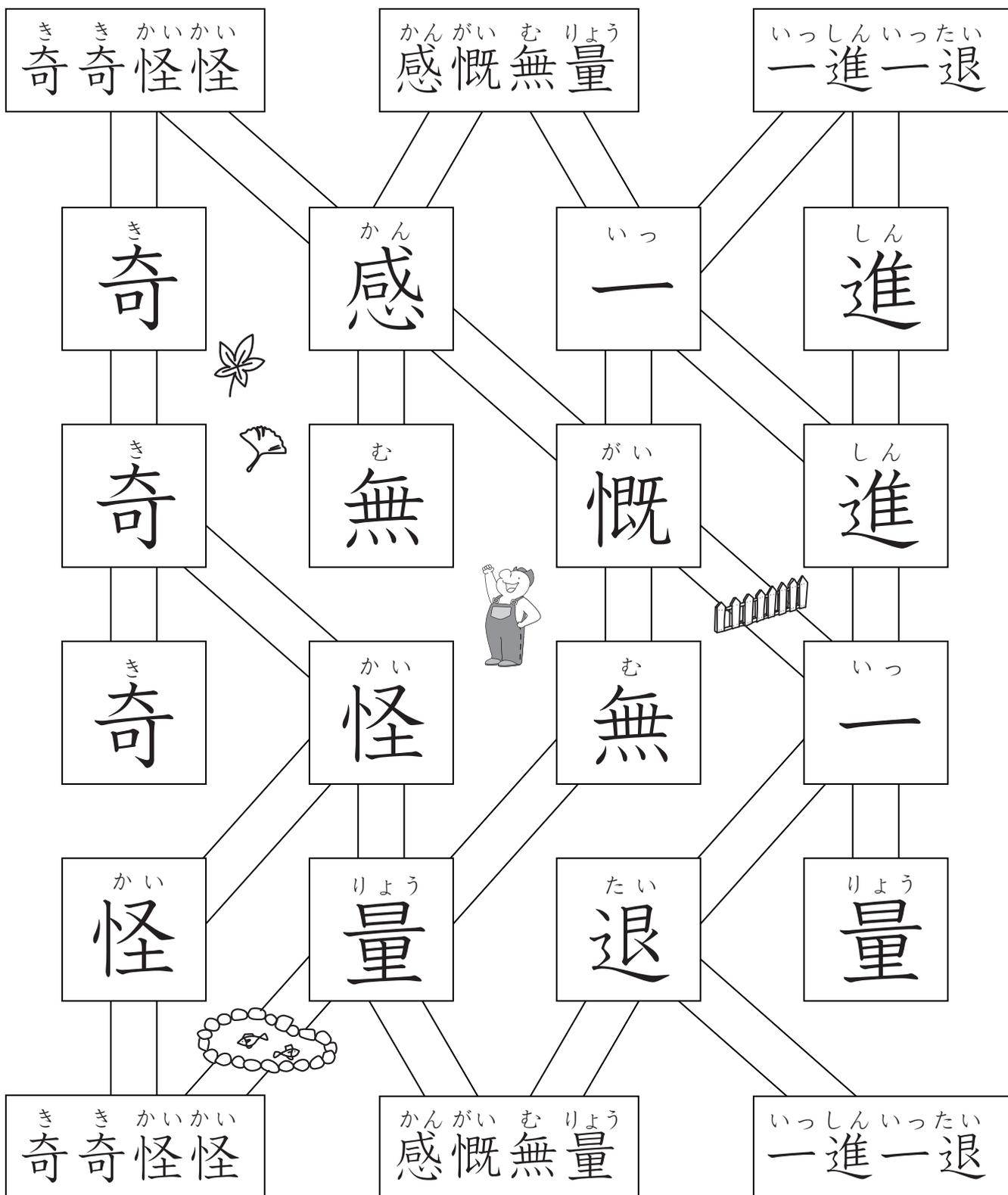


いっしん いったい  
一進一退

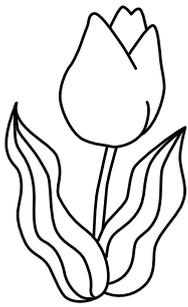
ひじょう あや ふしぎ  
非常に怪しく、不思議  
なこと。



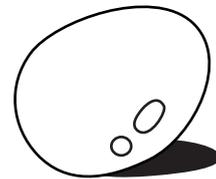
線せんでむすびましょう。



ちい おんな こ なに なか で  
小さな女の子は何の中から出てきましたか？



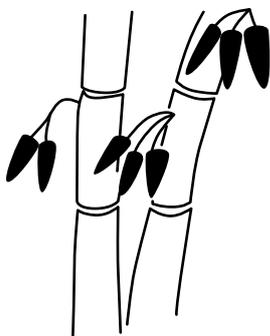
チューリップ



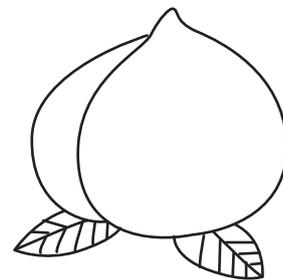
たまご



はこ

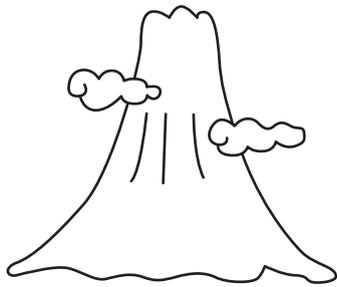


たけ

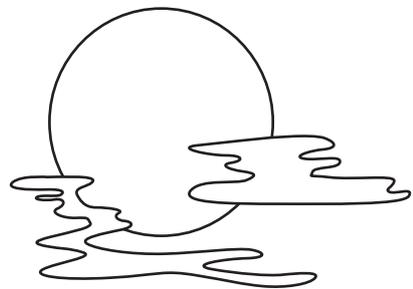


もも

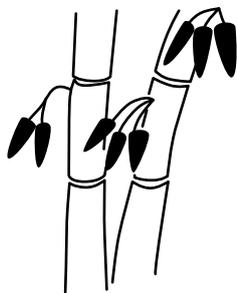
じゅうごやひに、かぐやひめはどこへかえ帰って  
いきましたか？



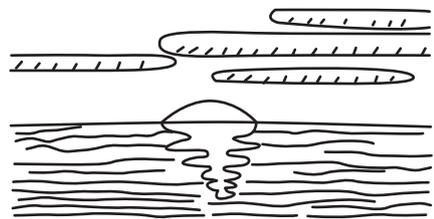
やま



つき



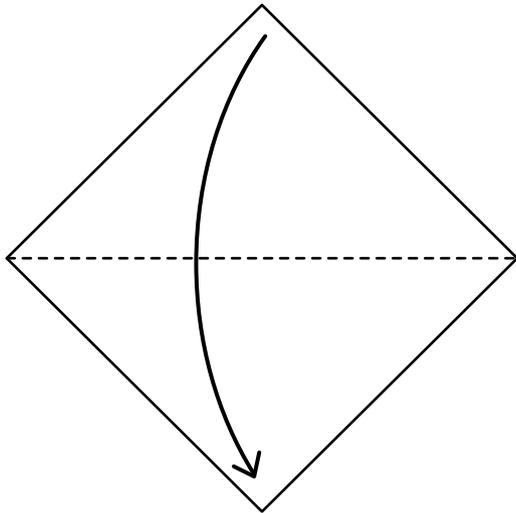
たけ



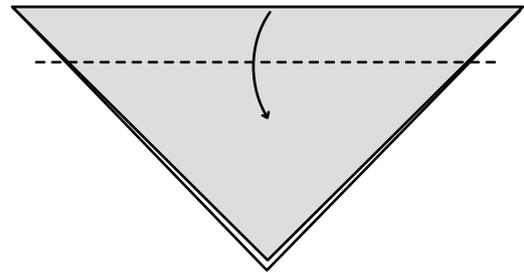
うみ

《うさぎ》

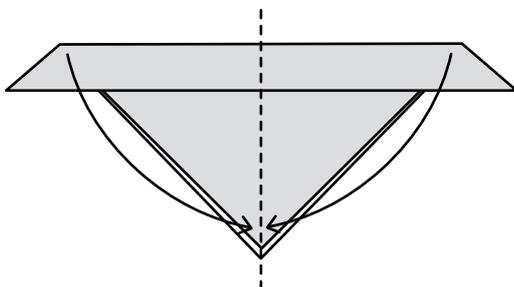
なまえ



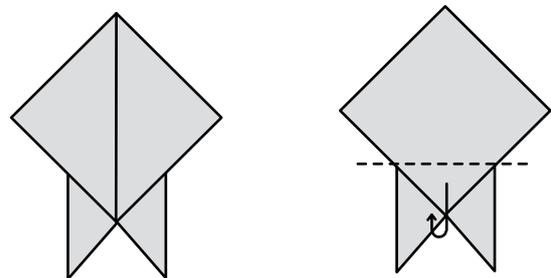
1 さんかくに おる



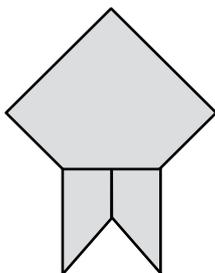
2 うえの ぶぶんを すこし おる



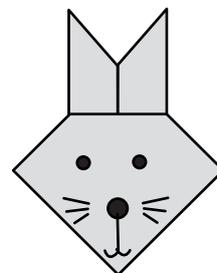
3 りょうはしを まんなかで あわせて おる



4 うらがえして うえ2まいを うちがわへ おりこむ



5 さかさまにしたら うさぎの かんせい



かおを かきましょう